

令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

北部農林高等学校 全日制課程

科目	言語文化	単位	1	学年	1	担当	北部農林高等学校 国語科
使用教科書	新編 言語文化 (数研出版)		副教材等		「新編言語文化 準拠ワーク」(数研出版) 「常用漢字1・2ワンツートライ 5級から2級」(浜島書店)		

学習の到達目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価の方法

評価はABC観点別評価で行う。定期考査、臨時考査(漢字小テスト、朗読テスト等)、提出物(ワークシート、鑑賞文、感想文等)などを評価対象とする。

授業の形態

熱帯農業科、園芸工学科、林業緑地科、生活科学科、食品科学科それぞれ一斉授業を行う。

学習方法

年度の最初の授業で、「言語文化」について説明し、評価の方法等を説明する。

その他留意点

「常用漢字1・2ワンツートライ 5級から2級」(浜島書店)の活用・国語辞典の活用・図書館利用・漢字検定の受検奨励。

学期	月	時数	単元名/題材名	評価規準		言語活動
1	4	5	言語文化と古文 いろは歌 竹取物語 他9作品冒頭部分	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	歴史的仮名遣い、リズムに注意して音読する。
				思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	
				主体的に学習に取り組む態度	音読・暗唱に積極的に取り組み、独特のリズムを楽しもうとしている。	
1	5	5	古文の世界を楽しむ/ 児のそら寝(宇治拾遺物語)	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	登場人物の行動や心情を説明する。
				思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	
1	6	6	古文の世界を楽しむ/ 検非違使忠明(宇治拾遺物語)	知識・技能	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	本文と関連する慣用表現について調べ、短文を作る。
				思考・判断・表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。古語を学ぶ意義を利香している。	
				主体的に学習に取り組む態度	本文を通訳したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	
1	7	7	古語と現代語			

2	9	4	地域の「ことば」 /とんかつ	知識・ 技能	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	作品の内容を踏 まえ、登場人物 のその後の行動 を想像して話し 合う。			
				思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について考えをまとめることができている。				
				主体的に 学習に取り 組む態 度	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。				
	1 0	5	受け継がれる古典 /羅生門	知識・ 技能	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 比喩表現について理解している。	作品の内容を踏 まえて、主人公 のその後を想像 し、自分の考え を文章にまとめ る。			
				思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。				
				主体的に 学習に取り 組む態 度	積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。				
	1 1	2	受け継がれる古典 /探究の扉 今昔物語集	知識・ 技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	近代小説とその 典拠となった古 典文学との相違 点を探り、その 相違が近代小説 にどのような効 果をもたらして いるかを考え話 し合う。			
				思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。				
				主体的に 学習に取り 組む態 度	粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。				
	1 2	7	詩歌を味わう /六月	知識・ 技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	詩「六月」の構 成に於いて、 詩を創作する。			
				思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。				
				主体的に 学習に取り 組む態 度	進んで作品構成を評価し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。				
詩歌を味わう /サーカス		知識・ 技能	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	詩「サーカス」 で描写される 人々の生き方 についての感想 を話し合う。					
		思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。						
		主体的に 学習に取り 組む態 度	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。						
3	1	詩の創作	主体的に 学習に取り 組む態 度	進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	詩を創作する。				
			2	4		日本語の中に生きる漢文/ 訓読のきまり 故事成語 助長 漁夫の利 虎の威を借る狐	知識・ 技能	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 訓読の決まりについて理解している。	訓読の決まりを 説明する。 故事成語を使用 した文章を作成 し発表する。
							思考・ 判断・ 表現	「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	
3	3	虎の威を借る狐	主体的に 学習に取り 組む態 度	進んで理解に努め、積極的に自分の考えを説明しようとしている。					

単位数：1単位 年間授業時数：35時間